

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

2025 No.594

6/1

Network
Now

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519

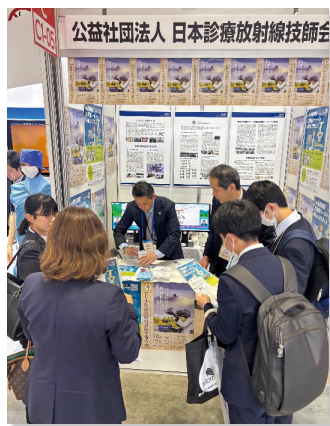


ITEM2025国際医用画像総合展 (ITEM in JRC) 開催される

2025年4月11日(金)から13日(日)までの3日間、パシフィコ横浜展示ホールA・B・C・DでITEM2025国際医用画像総合展 (ITEM in JRC) が開催されました。

3日間の延べ来場者数は23,155人(当日の再入場を除く)に上り、大盛況となりました。

今回、本会として初めてITEMに出展し、職能団体としての活動報告および入会促進活動を行い、3日間で約500人の方々に対応しました。



ブースでは、小児生殖腺シールド廃止ポスター(A4)、新卒者向け入会促進パンフレット、検査説明動画チラシ(A4)、第41回日本診療放射線技師学術大会ポスター(A4)、公式LINE案内チラシ、新卒学生向け無料求人案内(A6)を配布しました。また放射線に関する正しい知識や検査説明、第41回日本診療放射線技師学術大会案内動画を放映し、本会の事業の一部を紹介しました。

中でも小児生殖腺シールド廃止ポスターは、診療放射線技師のみならず放射線科医にも関心を持っていただき、施設内掲示用として多くの方にポスターを持ち帰っていただきました。さらに診療放射線技師養成校の教員が学生を引率し多数来場されたため、職能団体としての役割や必要性を説明する良い機会となりました。

今回、最小規模の展示スペースで出展したため、団体での来訪時には通路上での会話や写真撮影が生じ、通行の妨げとなる場面もありました。次回出展の際にはこうした点を考慮し、より適切な対応を検討していきます。

4月11日(金)には、本年度開催される第41回日本診療放射線技師学術大会(福井県)への協力依頼のため、上田会長

をはじめ、富田副会長、児玉副会長、江藤副会長、江端業務執行理事、川守田理事、園田理事、後藤総務委員が現地会場に入りました。

また開催県である福井県診療放射線技師会の実行委員会からも、村中大会長、佐々木実行委員長、立石副大会長らが同行し、共催セミナー・展示・広告掲載への協力依頼とあいさつを行いました。さらに次年度開催地である山形県からも鈴木次期大会長、佐藤次期実行委員長が参加し、次年度に向けたあいさつも行われました。

あいさつ回りの合間には、各企業によるAIを活用した最新機器の説明を受け、改めて医療被ばくの最適化や、利用者のための技術進歩のスピードを実感しました。

診療放射線技師として、国民に安心・安全な医療を提供するために、常に最新技術を習得する必要があることを再認識する機会となりました。



欧州放射線学会 (ECR2025) へ 初めて日本診療放射線技師会ブースを出展！

2025年2月26日(水)から3月2日(日)にかけてオーストリア・ウィーンで開催された欧州放射線学会 (ECR2025) において、本会として初めての公式ブースを出展しました。ブースでは日本における診療放射線技師について紹介し、世界中からの来場者に対して幅広く情報発信を行いました。また日本から参加された多くの学会関係者や技師の皆さまにもブースにお立ち寄りいただき、国内外の情報交換の場としても大いに活用されました。

今回、他国の放射線技師団体関係者や教育機関、国際的な医療関係者からも高い関心が寄せられ、日本の放射線技術の水準の高さや活動の多様性を効果的にアピールする機会となりました。ECRでの初出展は、国際的な認知度向上と今後の連携強化に向けた第一歩として、非常に有意義な取り組みとなりました。



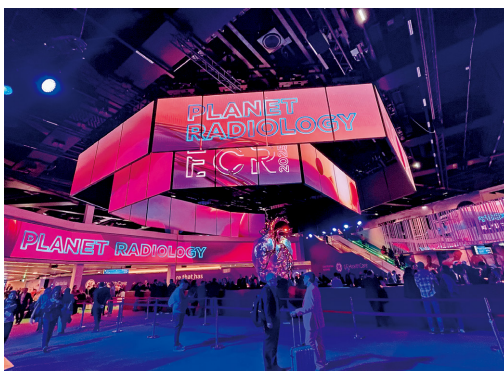
欧州放射線学会 (ECR2025) ISRRTセッションで 上田会長と富田副会長が講演を行う

2025年2月26日(水)から3月2日(日)にかけてオーストリア・ウィーンで欧州放射線学会 (ECR2025) が開催され、本学会のISRRTセッションにおいて、本会上田会長は「Meets 18b – Illuminating the future: Japanese radiography highlights (未来を照らす：日本の放射線技術の注目点)」に登壇し、「License system, expansion of clinical practice and career structure of radiological technologist in Japan (日本における診療放射線技師の免許制度、業務拡大およびキャリア構造)」および「Current and future of radiotherapy and heavy particle therapy in Japan (日本における放射線治療および重粒子線治療の現状と展望)」について講演しました。

講演内容は、日本における診療放射線技師制度の特徴や実践範囲の拡大、キャリアパスの構築に関する現状と将来の展望について詳しく紹介しました。また川守田理事の代理として、講演では放射線治療

分野における先進的な取り組みや重粒子線治療の発展についても紹介し、参加者から高い関心が寄せられました。このセッションでは、日本の制度や専門職能の高度化に向けた取り組みを世界に発信する貴重な機会となり、国際的な連携の深化にも大きく寄与する内容となりました。

また本会富田副会長は、同学会のISRRTセッション「ISRRT–Computed tomography (CT): new techniques and contrast media optimization (CT：新技術と造影剤最適化)」において、「Current status of dual-energy CT and photon-counting CT in Japan (日本にお



けるデュアルエネルギーCTおよびフォトンカウンティングCTの現状)」について講演しました。本セッションでは、各国のCT技術の最新動向と造影剤使用の最適化について活発な情報交換が行われました。富田副会長は、日本国内におけ

る新技術導入の現状や臨床応用の実際、今後の展望について具体的な事例を交えて紹介し、国際学会の舞台で日本の診療放射線技術の発展と取り組みを広く発信する貴重な機会となりました。

2024年度 期末監事監査 実施される (Web併催)

2025年4月21日(月)、2024年度期末監事監査が実施されました。

冒頭、上田会長よりあいさつがあり、続いて2024年度の事業報告総括についての説明が行われました。その後、園田理事から庶務報告および各事業の報告がなされました。今回も、各事業の報告と収支実績を照らし合わせながら監査が進められました。

続いて江端業務執行理事より、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録などを用い、会計報告が行われました。

監事からは、以下の点について講評と意見が示されました。

- ①事業の精査と事業計画の確実な遂行
- ②JART Vision 2040に基づくPDCAの実行と目標の達成、会員への報告
- ③第1回日本放射線医療技術学術大会に関する両団体による評価・検証および今後に向けた検討
- ④会員数の増加



- ⑤会費引き下げの検討
- ⑥ラダー活用状況の確認と、コンテンツの整備・更新・管理
- ⑦ワクチン接種講習会の成功
- ⑧会員情報システムの見直し時期を踏まえた、各種システム連携や事務職員業務の省力化を目指したシステム最適化
- ⑨今後の運営体制と組織強化

以上の講評を受け、上田会長より監事への謝意が述べられるとともに、事業の進捗確認と確実な遂行に対する決意が表明され、2024年度期末監事監査は終了しました。

令和8年度診療報酬改定に関する要望書を 林医療課長に提出

2025年4月22日(火)に本会上田会長、江端業務執行理事(診療報酬政策立案委員会委員長)、堀住事務局長の3人が厚生労働省保険局医療課 林医療課長を訪問し「令和8年度診療報酬改定に関する要望書」を提出しました。

要望内容は1.「医療情報システムの安全管理および医療DXの推進における診療放射線技師の貢献」に対する評価 2.「医療被ばく低減施設認定」取り組みへの評価 3.「画像診断用ディスプレイの保守管理の施設基準への収載」と管理に関する診療放射線技師の活用の評価——の3点です。詳細については会誌などに掲載させていただく予定です。また第41回日本診療放射線技師学術大会の委員会シンポジウムでも、アンケート内容を含めて報告させていただきます。

林医療課長からは、要望の個別項目は今秋に向けて内容を精査すると述べられましたが、個別要望内容については、他団体との意見調整や現場での実際の状況などについてご意見を頂きました。林課長とは中央社会保険医療協議会(中医協)総会会場でもごあいさつさせていただいたところで、対面早々に打ち解けた雰囲気の中での会談となりました。従来より1カ月早い要望書の提出にこぎ着けられたのも、会員諸氏



の診療報酬に対するアンケート回答への積極的な協力と、委員各位の迅速な対応のたまものでした。

今後は、2年ごとの診療報酬要望の取りまとめといった作業ではなく、長期的視点に立って2回先、3回先の診療報酬改定に向けた要望の作成を積み上げる委員会活動を進めてまいります。(文責：江端 清和)

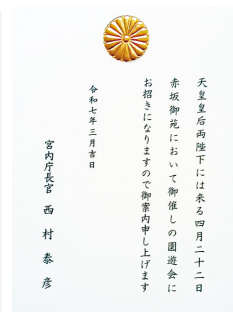
北村善明元会長、春の園遊会にご出席

本会元会長の北村善明氏が、2025年4月22日(火)に開催された春の園遊会にご出席されました。

春の園遊会は、天皇皇后両陛下の主催により、東京・元赤坂の赤坂御苑で行われ、各界の功労者や自治体関係者、その配偶者など約1,500人が招待されました。

当日は愛子さま、秋篠宮ご夫妻、佳子さまをはじめとする皇族の方々もご臨席になり、和やかな雰囲気の中での交流が行われました。今回の園遊会では、出席者の安全と皇室の方々との交流の機会を広げる目的で、皇族の方々が歩かれる道筋が初めて3つに分けられるなどの新たな工夫も施されました。これは1963年に赤坂御苑が会場となって以来、初めての試みです。

心地よい春の陽気の中、北村元会長は、長年のご功績に対する敬意の下、皇室の方々と歓談されるという栄誉に浴されました。



レントゲン週間 イベント開催される



本会では、1895年11月8日のW.C.レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定しています。

この『レントゲン週間』にちなみ、放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントとして、本年度も各県（診療）放射線技師会の協力を得て、各地でさまざまなイベントが開催されました。

SAGA

令和6年度レントゲン週間（第18回）

- 日 時：2025年2月2日(日)
- 開催場所：佐賀市文化会館 イベントホール
- 参加者：運営18人、会員3人、一般83人

佐賀県放射線技師会県民公開講演会と同時開催で18回目となります。正午から午後4時までのイベントで、メイン会場では公開講演会が開催され、大腸癌の話で大盛況でした。佐賀県放射線技師会では、パネル展示・大腸癌クイズを実施しました。また診療放射線技師の仕事紹介の動画も放映しました。

(佐賀県放射線技師会 副会長 日高 義時)



第65回東海四県診療放射線技師学術大会 ならびにレントゲン祭 開催報告

公益社団法人岐阜県診療放射線技師会 副会長 檜山 征也

2025年2月16日(日)、岐阜市のじゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)において、第65回東海四県診療放射線技師学術大会を開催致しました。大会テーマを「多様性から広がる診療放射線技師の未来」とし、多くの皆さまのご協力をおもひまして、174人のご参加を頂きました。

大会開始30分前に、岐阜県診療放射線技師会では恒例となる令和6年度レントゲン祭を行い、1923年2月にご逝去されたW.C.レントゲン博士に対し、岐阜県診療放射線技師会の加藤秀記会長による誓詞朗読の後、来場者で黙とうをささげました。

初めに加藤会長による開会あいさつがあり、その後の会員発表では、テーマに「日常業務に役立つ!? 知識について」を掲げ、東海四県のえりすぐりの先生方より、さまざまなお話を頂きました。ミニレクチャーでは、松波総合病院輸血部の森本剛史先生に「診療放射線技師の皆さんに今ちょっと話してみたいこと」と題し、日頃、われわれが耳にできない臨床検査技師の現状を、業務の紹介も交えてお話しいただきました。教育講演では、岐阜医療科学大学の北章延先生に「核医学の今を知るー検査と治療の最新トピックスー」と題し、核医学の基礎から核医学診療の実態、最新トピックスまでお話しいただきました。ランチョンセミナーでは、「クラウド型線量管理システム」をテーマとし、PSP株式会社さまとユーザーのお二方より、線量管理業務の標準化やその使用経験について話題提供いただきました。

特別講演では、岐阜大学大学院医学系研究科 寄附講座 放射

線量子医学研究講座 特任講師の安藤知広先生より「中枢神経の画像診断」と題し、さまざまな症例に対するシーケンスの選択と評価について、非常に分かりやすくご講演いただきました。シンポジウムは、テーマを「疾患の発見から治療まで」と題し、シンポジストの先生方にご発表・ご討論い

ただき、さまざまな疾患での発見から治療までについて見直すことができました。最後に、次の開催県である三重県の武藤裕衣会長より、開催に対し熱意のこもったごあいさつを頂き、本大会は終了致しました。

参加された皆さまからは、「いろいろなことが聞け、学べてよかった」「臨床検査技師さんのお話は新鮮だった」など、さまざまなご意見を頂戴することができました。本大会にご協力いただきました多くの企業さま、会員の皆さま、ご参加いただきました皆さま、運営委員に心より厚く御礼申し上げます。

最後に、2026年2月に開催が予定されております三重県大会で皆さまとお会いできることを楽しみに、開催報告とさせていただきます。



特別講演 安藤知広先生

「JART Plus (JART会員無料コンテンツ) お試し動画」について

会員の皆さまへ

平素より、本会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、本会のe-ラーニングシステムの更新に伴い、2025年度の生涯教育e-ラーニングの視聴開始が6月1日となりましたことをご知らせ致します。開始の遅れについて深くおわび申し上げます。

つきましては、会員の皆さまにラダーレベル1・2の動画コンテンツ(計7本)をお試し視聴いただけるように致しました。ぜひご活用ください。

※お試し動画コンテンツのため、学術カウントは付与されません。

詳しくは、本会ホームページよりJART情報システムにログインし、JART Plusの「お試し動画」からご覧ください。



公益社団法人
日本診療放射線技師会

ホーム

会員番号/バーコード

マイページ

JART Plus
JART会員無料コンテンツ



■ JARTIS マイページ:

<https://jart.my.site.com/crm/s/login/?ec=302&startURL=%2Fcrm%2Fs%2F>

INFORMATION

第17回北陸3県診療放射線技師 学術研修会 開催報告

公益社団法人石川県診療放射線技師会
会長 石黒 充

2025年3月2日(日)、石川県立中央病院で「第17回北陸3県診療放射線技師学術研修会」が開催されました。近年の医療現場において、迅速な判断が求められる救急医療の重要性がますます高まっており、診療放射線技師に大きな役割が期待されています。そこで今回の研修会では会員発表に加え、救急医療をテーマとする教育講演、JART講演、特別講演を企画しました。

会員研究発表では12演題が発表され、テーマは被ばく、IVR、CT、タスク・シフト/シェア、放射線治療、動態撮影と多岐にわたりました。活発な質疑応答や意見交換が行われ、充実した討議が展開されました。

教育講演では、石川県立中央病院放射線室の鳥山翼先生に、救急患者の画像診断における救急医療全体の把握の重要性について講演していただきました。ABCDEアプローチ、Primary Survey、Secondary Surveyの手法を中心に解説がなされ、実践的な知識を深める貴重な機会となりました。



会長あいさつ



講演



開催プログラム表紙

JART講演「STAT画像所見報告—おさえておきたいポイント—」では、STAT画像報告委員会の木暮陽介先生に、STAT画像所見報告ガイドラインについてQ&Aを交えながら分かりやすく解説していただきました。またJARTホームページのSTAT画像所見報告のコンテンツやJART Webセミナーが、無料で視聴できることも紹介され、参加者には大変有益な情報となりました。

特別講演では、石川県立中央病院救命救急センター救急科の蜂谷聡明先生にご講演いただきました。実際の救急外来でよく遭遇する場面を題材に、救急医がどのような思考で診療しているのかをご紹介いただきました。医療従事者が職種の垣根を越えて相互理解を深め、連携することの重要性を強調され、救急医と診療放射線技師の協力によって、より安心・安全で高度なチーム医療を患者さんに提供できるという力強いメッセージを頂きました。

本大会の参加者は113人に上り、富山県や福井県など遠方からも多くの会員が参加してくださいました。開催後のアンケートでは、参加者の満足度が95%を超え、大変有意義な研修会であったと評価されました。ご参集いただいた皆さま、本研修会の運営に尽力された別所学術委員長をはじめ実行委員の皆さまにも、厚く御礼申し上げます。

今年は「第41回日本診療放射線技師学術大会」が福井県で、来年は「第18回北陸3県診療放射線技師学術研修会」および「第18回中部放射線医療技術学術大会」が富山県で開催されます。北陸3県の結束をさらに強め、大会の成功を祈念するとともに、会員の皆さまのご協力を心よりお願い申し上げます。

診療放射線技師のための フレッシューズセミナー 開催報告

群馬県

一般社団法人群馬県診療放射線技師会 教育部長 米持 圭太

2025年4月20日(日)、群馬県立県民健康科学大学多目的ホールで「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」を開催しました。新人診療放射線技師を対象とした本セミナーは、日本診療放射線技師会と群馬県診療放射線技師会の共催により、例年4月に開催しています。

本セミナーには、入職1年目の新人診療放射線技師11人が参加しました。セミナーの内容は、胸部撮影講座、エチケット・マナー、医療コミュニケーション、医療安全、感染対策、被ばく低減など、医療従事者に必要不可欠な内容を優先した講義となりました。講義後には、五十嵐博会長から入会案内

がなされました。

すでに医療機関で従事している参加者には、社会人・医療従事者としてのスキルを再確認するとともに、現場ですぐに役立つ新たな知識や技術を習得する良い機会となったようです。セミナー終了後には、個別に入会や告示研修に関する質問をする参加者もいて、新人診療放射線技師の積極性を感じることができました。今回のセミナーで学んだ内容を、現場で活用していただければ幸いです。

今後も、より多くの新人診療放射線技師にとって有意義なセミナーになるように、積極的に取り組んでいきたいと思います。



診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーのお知らせ

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定：

千葉 6月 1日(日)	山形 6月 7日(土)	岩手 6月 8日(日)	愛媛 6月 8日(日)
青森 6月14日(土)	富山 6月14日(土)	栃木 6月15日(日)	東京 6月15日(日)
大阪 6月15日(日)	新潟 6月21日(土)	奈良 6月21日(土)	香川 6月28日(土)
長崎 6月27日(金)・29日(日)			

2025年 春の叙勲受章者 —おめでとうございます—

旭日双光章	伊藤 幸 (新潟県)	伊藤 實穂 (山口県)	小林 一郎 (島根県)	
瑞宝双光章	池本美智代 (香川県)	市ノ渡憲市 (岩手県)	宇治 茂 (大阪府)	大内 幸敏 (神奈川県)
	岡田 義和 (埼玉県)	小山 洋 (宮城県)	後閑 隆之 (群馬県)	小谷 卓宏 (徳島県)
	錦 成郎 (奈良県)	山本 英雄 (静岡県)	佐竹 芳朗 (埼玉県)	山根 武史 (鳥取県)
	川田 秀道 (福岡県)	福田 徹 (長崎県)		
瑞宝単光章	亀井 正勝 (徳島県)	川崎 政士 (東京都)		

(敬称略・順不同、括弧内は所属地区)



第7回

第41回日本診療放射線技師学会大会

福井への道 Go To FUKUI

高橋 政史

(公益社団法人福井県診療放射線技師会 常務理事)



INFORMATION

福井県のグルメ

福井への道、第7回は福井県のごグルメについてご紹介致します。

豊かな自然環境に恵まれた福井は、新鮮な海の幸はもちろん、おいしい食べ物がたくさんあります。越前おろしそば、ソースかつ丼、お刺し身、越前ガニ、竹田のあげ、ボルガライス、焼き鳥、焼き鯖寿司、甘エビ、若狭フグ、若狭牛…、まだまだありますが、とても紹介しきれません。また酒造りに適した米がたくさん生産され清らかな水もあることから、日本酒の種類もとても豊富です。

上記で挙げたおいしい食べ物の中からいくつか紹介したいと思います。

1. 越前おろしそば

福井県は蕎麦の生産量が全国トップクラスであり、黒っぽくてやや太め、コシの強い蕎麦にたっぷりの大根おろしとダシで一度味わえば、越前おろしそばのとりこになるでしょう。

2. ソースかつ丼

福井県でかつ丼と言えば迷わずソースかつ丼です。私は福井県の隣の石川県出身ですが、福井に就職するまでソースかつ丼を食べたことはありませんでした。たまたま職場の先輩に食べに連れて行っていただいたからはソースかつ丼派になりました。濃い目のソースがたっぷりと染み込んだ薄めのとんかつとご飯というシンプルなものですが、こちらもとりこになるでしょう。



ソースかつ丼

3. ボルガライス

オムライスの上にとんかつがのった洋食でボリューム満点。お店によって味も特徴もさまざまで、名前の由来や発祥に関して謎が多いそうです。

4. 焼き鳥

福井県は焼き鳥の消費量が全国トップレベルとのこと。この記事を書くまで全く知りませんでした。福井県民は焼き鳥が大好きで、体が鳥になるくらい焼き鳥でおなかいっぱいになっているのではないかと思います。その焼き鳥の中でも「純けい」がおいしくてたまりません。ちなみに「純けい」は「やきとりの名門 秋吉」の定番メニューであり、今学会の情報交換会でも提供を予定しております。福井駅前にもお店がありますので、ぜひ食べてみていただきたいと思います。



ボルガライス

5. 越前ガニ

日本海の荒波と厳しい寒さの環境下で育った越前ガニですが、残念ながら学会期間中は禁漁期間となっております。冬の味覚の王様ともいわれる越前ガニ、全国でも珍しい皇室献上ガニでもあります。高価なカニですが、寒い季節にいかがでしょうか。

6. 日本酒

「黒龍」「九頭龍」「常山」「梵」などの有名銘柄はもちろん、その他にもおいしい日本酒がたくさんあります。ぜひ、福井の地で日本酒を楽しんでください。



第41回

The 41st Japan Conference of Radiological Technologists
日本診療放射線技師学術大会放射線技術の
イノベーション〜期待される診療放射線技師の
役割に応えよう〜2025.
9/12(金)▶14(日)会場 福井駅前
AOSSA、ハピリン他

[現地＋オンデマンド配信]

<https://www.kwcs.jp/jcrt41/>会長 上田 克彦 (公益社団法人
日本診療放射線技師会 会長)大会長 村中 良之 (公益社団法人
福井県診療放射線技師会 会長)

主催：公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催：公益社団法人 福井県診療放射線技師会

後援：厚生労働省(予定)、公益社団法人 日本放射線技術学会、
福井県、福井市大会事務局
公益社団法人福井県診療放射線技師会
〒910-0851 福井県福井市米松1丁目16-31 NTビル2階
E-mail: 41jcrt@gmail.com

予 言



2025年を迎えた日本で、未来予測や「予言」に関する話題が再び注目を集めている。災害や社会的変動が相次ぐ時代、不安や期待が入り交じった心理から、人は予言を求める傾向がある。実際に過去の予言を振り返ると、その多くが曖昧であったり、結果論として後付けされた解釈に過ぎないことが分かる。

しかし、予言は単に未来を当てるものではなく、未来を考えるための道具としての意味を持つ。予言が人々を引きつけるのは、未知なる未来への関心が人間本来の性質であり、そこに不確実性への不安と好奇心が交差するからだろう。

予言の捉え方には大きく二つある。一つは運命的に未来が定まっているという考え方、もう一つは予言を通じて警鐘を鳴らし、自ら未来を変えていこうとする能動的な姿勢だ。後者の場合、予言とは「未来を変えるための指標」に過ぎず、その価値は正確さではなく人々の行動変容を促す力にある。

2025年、日本が直面する課題は少子高齢化、テクノロジーと人間の関係性、そして環境問題など、多岐にわたる。これらを予言によって不安視するのではなく、むしろどのように行動を変え、より良い未来をつくり出せるかという積極的な姿勢で臨むことが求められている。

予言に惑わされるのではなく、自らの選択が未来をつくるという認識を持つこと。それこそが、不確実性に満ちた現代において、私たちが最も必要としている心構えなのではないだろうか。

2025年を迎え、社会にはさまざまな「予言」が飛び交って

いる。未来を予知したという人物の発言、AIの精密な未来予測、あるいは古代文書を解読したという情報まで、多様なかたちで私たちの目に触れる機会は増えている。だが、予言をどう捉えるべきなのだろうか。

予言とは、人間の未来への不安や期待を映し出す鏡のようなものであり、未来が不確かであるほど、人はその不安を和らげるために確かな何かを求める。その意味では、予言は単なる「未来の予測」ではなく、現代社会が抱える心理的欲求の現れでもあるのだ。

しかし、注意したいのは、予言を盲目的に信じることの危うさだ。「〇〇年にはこうなる」という確定的な予言は、私たちの行動や判断を制限し、思考停止に陥らせることもある。特に、AIが膨大なデータを基にした予測を示す現代においては、その精度の高さ故に人間の判断力が鈍るリスクも指摘されている。

むしろ予言は「可能性の一つ」として柔軟に捉えることが重要だろう。その情報をきっかけに、私たちがより良い未来を創造するための対話や行動を始めることができれば、それこそが予言の最も前向きな活用法となる。

2025年の日本に生きる私たちは、予言を「未来の答え」としてではなく、「未来を考えるための材料」として捉える成熟した視点を持つべきだ。それが不確実な時代を生き抜く力になるのだから。

(文責：富田 伸生)

6月・7月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

■ エックス線撮影WGハンズオンセミナー : 京都 + Web開催 2025年6月28日(土) ※後日、オンデマンド配信も予定

■ 告示研修(実技研修)/業務拡大に伴う統一講習会:

本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

[e-ラーニング(ストリーミング方式)]

- | | |
|--------------------------------------|---|
| ■ 認定資格の取得を目指す在宅講習受講生の募集 | 2025年6月23日(月)午前0時から12月19日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から各認定資格試験終了日前日まで何度でも視聴いただけます。
※本講習会を修了しないと、認定資格試験のお申し込みはできません。 |
| ■ 告示研修(基礎研修) | 2026年3月31日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了日まで何度でも視聴いただけます。 |
| ■ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー | 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日からセミナー終了日まで何度でも視聴いただけます。 |

■ オンラインセミナー(在宅): 本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

※「診療放射線技師のためのフレッシュアップセミナーのお知らせ」は7ページに掲載しています。

事務所
案内

執務時間: 月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日~1月3日)は執務致しません。